

平成29年度 施策評価表

作成年月日：平成30年9月25日

課・グループ名	産業振興課商工観光グループ
---------	---------------

施策名	5-(6)-① 観光拠点の形成とイベントの充実
-----	-------------------------

1. 施策の現状分析及び展開方向

政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(6) 地域資源を活用した魅力ある観光づくり	①観光拠点の形成とイベントの充実

①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 本町の観光資源の核となる南幌温泉をはじめ、商工会や農協等が開催するイベントと連携を図り、南幌町の知名度向上と地域の活性化に努めます。 ● わかりやすい観光案内標識のあり方に向けて関係課と協議を進めていくとともに、本町の観光情報の発信に向け観光マップを作成します。 ● 観光協会を中心として、本町が持つ魅力ある観光資源のPRと情報発信を行うとともに、町内外で開催されるイベントへの参加により、本町特産品や農産物の販売PRに取り組んでいきます。 ● ふるさと物産館の機能を生かしつつ、町内外の方に気軽に利用いただける施設への改善に取り組んでいきます。 ● 本町の重要な観光拠点施設である南幌温泉の観光入込客増加を図るため、施設の改修を行います。
--------------	--

②施策の現状と課題	<p style="text-align: center;">現 状</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平成27年度において、南幌温泉やリバーサイド公園、リバーサイドゴルフ場、パークゴルフ場などへの観光入込客数は286,000人となっています。 ● 町内に観光案内看板を4箇所（中央公園、三重湖公園、南幌高校横、ふるさと物産館展望室）設置し、観光施設及び主要施設等の案内を行っています。 ● 町及び観光協会のホームページで観光に関する情報の発信を行っています。また、ふるさと物産館内観光協会特販所・軽食コーナーで特産品の販売を行うとともに、町内外の各種イベントに積極的に参加し、南幌町のPR活動を行っています。 ● 商工会や農協、観光協会等各種団体による主催イベントに多くの町民が集い、地域の交流や活性化が図られています。 ● 本町の観光物産等の拠点施設である、ふるさと物産館の有効活用に向けて、検討や改善に取り組んできましたが、思うような利用促進が図られていない状況です。 ● 南幌温泉施設の老朽化が著しい状況です。 	<p style="text-align: center;">課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光入込客の増加に向けて、新たな観光資源の発掘や農業と連携した観光事業に取り組む必要があります。 ● 町外からの利用者に対して、わかりやすい観光案内標識や本町の観光情報を伝える観光マップの製作が求められています。 ● 南幌町の観光振興を図るためには、特産品や農産物の販売・PR方法、観光協会特販所・軽食コーナーの活用促進など、活性化するための新たな取り組みが必要となっています。 ● ふるさと物産館の利用促進に向け、利活用方法等の見直しを行う必要があります。 ● 南幌温泉施設の改修を計画的に行い、利用者に対応した施設の充実を図る必要があります。
-----------	---	--

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況

① 成果指標	設定の意図	まちづくりの成果指標名	数値化		
	・町内にある観光施設等の利用状況を示す南幌町観光入込客数を代替成果指標として設定する。	成果指標 (総合計画・施策評価)		可	可能
				不可	可能
				未計測	可能
		代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定
	南幌町観光入込客数		○	可 不可	

※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。

②指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H26	H27	H28	H29	H33	
目 標	千人	363	363	279	253	306	・平成29年度の目標は、南幌温泉大規模改修工事のため前年対比2.6万人減で設定しており、実績で105.1%となっている。
実 績	千人	356	363	302	266		
達成率	%	98.1	100.0	108.2	105.1		

評価視点	評価結果	理由、課題・問題点
③施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)	施策の達成度
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)	
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	A
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)	

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類

【必要性】事務事業の必要性

【妥当性】町の関与の妥当性

(1) 自主事業(自主)

(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの

(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業

(2) 施設管理事業(施管)

(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの

(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業

(3) 経常的事務(経常)

(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの

(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業

(4) ハード事業(ハード)

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H29)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	実績					H29実績	H30予算	
						単位							
1	観光協会運営助成事業	(1)	産業振興課	観光入込客数	253,000	人	■観光事業の発展と地域活性化を図るため観光協会の運営事業に対し助成を行う。 ・ふるさと物産館内「観光総合案内所」常駐職員1名配置(7月～10月の4ヵ月間)ビューロー利活用方針 ・マスコットキャラクター「キャベッチくん」着ぐるみの更新 ・観光案内看板3箇所(中央公園、三重湖公園、南幌高校横)の表示修正 ・町長杯パークゴルフ大会の開催(町パークゴルフ協会と連携) ・特販所、軽食コーナーの運営 ・町内外イベントへの参加出店 ・主催イベントの開催(秋の大収穫祭、なんぼろ冬まつり)	II	I	2-1 見直して継続 拡大	2,422	高い	
					266,248	人					4,375		
2	観光振興事業	(1)	産業振興課	観光入込客数	253,000	人	・本町の観光情報や各種イベント情報の発信を行い、町外から観光客を呼び込み、知名度向上を図る。 ・町内の観光施設や市街地を中心とした飲食店等を掲載した、南幌町観光マップ及び町内の観光情報やイベント情報を掲載した、南幌町観光案内パンフレットを作成。	I	I	1 現状のまま継続	2,442	高い	
					266,248	人					250		

3	南幌温泉施設整備事業	(4)	産業 振興課	観光入込客数	253,000	人	平成29年度以降想定される南幌温泉改修工事に基づき、改修を行う。 ・本館棟改修工事（浴室全面改修工事、煙突改修工事）165,056千円 ・宿泊棟改修工事（暖冷房機器配管改修及び外構工事）116,598千円 ・実施設計監理委託（設計費10,368千円、監理費6,912千円）17,280千円	I	I	4 終了・完了	322,229	高い
					266,248	人						
4	ふるさと物産館利活用改善事業	(2)	産業 振興課	来館者数	63,000	人	ビューロー利活用方針に基づき、改善を行う。 【1階】 ・観光総合案内所への常設職員の配置→観光協会運営助成事業 ・情報収集発信の強化（観光マップ並びに観光パンフレットの作成、PR動画等の放映に伴う機器の整備、作品展の開催）※観光マップ、観光パンフレットの作成→観光振興事業 ・地域特産品等販売促進（農産物直売コーナーの増設、シェアショップコーナーの新設、姉妹町「多良木町」の認知度向上） ・設備等の充実（無料Wi-Fiの整備、照明機器のLED化） 【2・3階】 第6期ワーキンググループから観光コンシェルジュと南幌ブランド確立に向けた体制の活動拠点場所としての利活用提案事業について、提案実施にあたり平成29年度内部検討及び関係団体等の協議を進めるため従来どおり2階「まちおこしスペース」「情報フロア」「ミーティングルーム」、3階「会議室」として整理。 【4階】 作品展等が開催できるよう「貸しギャラリー」として開放を行ってきたが、階段室という密室的な雰囲気や防犯上の問題などから利用がほとんどないため、基本的に「階段室」として整理。 【5階展望室】 ・案内表示板の機能充実・環境整備（快適な展望室への改善、照明機器のLED化→H28整備）	I	I	1 現状のまま継続	797	高い
					66,631	人					14,712	

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H29事業費	327,890
H30予算	19,337

②H30に実施した新規事務事業				
実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H30予算(千円)
1				

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の妥当性 A ・3団体(町、商工会、農協)と連携を図り、観光協会運営事業に対して支援協力を行っていく必要がある。 ・観光協会や商工会、農協等が行うイベントの情報や観光情報を発信するとともに観光施設の拠点である「なんぼろ温泉ハート&ハート」と連携し、町外からの観光客を呼び込み、交流人口の増加や知名度向上を図っていく必要がある。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)									
①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	【評価】 特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の 方向性	事業番号				平成30年度以降 の予算の方向性		
			A	1					
			B	2	4				拡大
			C						○ 維持
			D	3					縮小
		優先度 A~D (ランク)							